

企画展
紹介

「わたしたちはわかりあえないからこそ展」

2025年6月25日(水)～8月30日(土)

ア ドミュージアム東京では、2025年6月25日(水)から8月30日(土)まで、オリジナル企画展「わたしたちはわかりあえないからこそ展」を開催しました。

日本のジェンダーギャップ指数は、148カ国中118位(2024年 WEF調査結果)。ジェンダーに関する意識や表現についてのあり方は、いまだ模索と更新の途上にあります。本展はこうした現状を背景に、多様な視点や立場の違いへの気づきを与えてくれる広告の事例を通して、コミュニケーションにできることを問い直すことを目的としました。会場では、「声をあげてみる」「問いかけてみる」「決めつけをやめてみる」といったアクションを促すキーワードごとにキュレーションした国内外約60点の広告作品を展示しました。

また、映像やグラフィック、実物資料の展示に加え、参加型の体験展示も実施しました。シーソーを用いて社会の偏りを体感できる展示や、ジェンダーに関する質問に回答しながら他者との価値観の違いに気づくことのできる展示が、来館者から好評を博しました。

さらに本展では、常設展およびライブラリーとも連動した展示を行いました。写真研究家で『ジェンダー目線の広告観察』の著者でもある小林美香氏の監修により、常設展の作品をジェンダー視点から新たに解説する試みを実施しました。ライブラリー展示では、編集者の井出幸亮氏協力の下、ジェンダーギャップを考えるための書籍20冊を紹介しました。



体験型展示コーナー

館内では、展示をきっかけに会話を交わす来館者の姿が多く見受けられました。「無意識の偏見に気づかされた」「身近な問題として考えるきっかけになった」

などの反響も寄せられ、ジェンダーに関する気づきや理解を深め、コミュニケーションを図るきっかけとなっていました。



展示会場風景



常設展連動展示「過去から学んでみる」。1970～90年代にジェンダー問題をテーマとした名作広告9点と常設展の展示作品9作品をジェンダー視点から読み解いた解説キャプションを設置



本展のキービジュアルと同じイメージで写真撮影ができるフォトスポット。
「わたしたちはわかりあえないからこそ・・・」というフレーズに、自身の言葉を添えて写真をつくることができる

ライブラリー連動展示「いろんな視点に立ってみる」では、今回の展示スタッフがジェンダーギャップについて理解を深めるために読み、たくさんの視点やヒントを得た20冊を解説付きで紹介



企画展 紹介

「TCC賞2025展」

2025年9月19日(金)～11月1日(土)

コピーの最高峰を選ぶ広告賞「TCC賞」(東京コピーライターズクラブ)の2025年度受賞作品を紹介する、「TCC賞2025展」を開催中です。2025年度のTCCグランプリを受賞した栗田雅俊氏(電通)、早坂尚樹氏(電通)の花王・メリット「最終回は気づかないうちに終わっていく。」(ポスター、TVCM)とTCC賞13作品群、TCC最高新人賞の平田純一氏(BBDO J WEST)をはじめとするTCC新人賞19名の受賞作品をご覧ください。また、ライブラリーでは、連動

企画「コピーライターの本棚」を開催。コピーライターのアレンジ、おすすめの本を選出者のコメントとともに紹介します。会期中には、受賞者によるトークイベントも予定しています。

～TCCについて～

東京コピーライターズクラブ(TOKYO COPYWRITERS CLUB)は、東京を中心に日本全国で活躍するコピーライターやCMプランナーの団体です。毎春、前年度に実際に使用された広告の中から、優秀作品を選出。その制作者を「TCC賞」受賞者として発表し、受賞作品のほか優秀作品を掲載した



「コピー年鑑」を発行。ことばを専門とするスタンスから、日本の広告界のコミュニケーション技術の向上を目指しています。



TCCグランプリ 栗田雅俊(電通)・早坂尚樹(電通) 花王・メリット(ポスター・TVCM)



TCC最高新人賞 平田純一(BBDO J WEST) ACジャパン「決めつけ刑事」(TVCM)